



# 海岸浸蝕とその対策

朝日町議会海岸浸蝕対策特別委員会 酒井 栄

## 技術的理論の上に立つた究明を

海浜や海岸線は多くの国民経済にとって重大な資産となつてはいるが、その反面多くの海岸は思慮のない構造物の築造によって取り返しのつかないほど大きな損失を受けている国民もまた多くあると云うことを忘れてはならない。

こうした皮肉な世相は日本ばかりではなく、海洋に接する世界の何れの国民も同じであるが、我が朝日町も又その例外ではなくこれらの対策として多くの海岸でもその保護のため国費とは云え実に老大な資金が投入されておりますが、一向にその効果が現れず壊されても壊されても性懲りもなく同じ工法でしかも文字どおりの水泡作業をくり返しくり返し行われて

るのが現在朝日町の海岸でも見られるとおりであります。このような結果をもたらしている理由の大半は自然条件のもとでは非常に複雑な問題もあろうけれども波の特性と沿岸漂砂移動との相関性や波浪のエネルギー等を予測することが出来ないから宮崎の築港と泊海岸の浸蝕と云う利害相反する問題等が生じて来るのである。もっと固なり

県が之等の問題を真剣に取りあげ、研究機関を設けて河口流における砂の拡散率や海岸線に沿う部分の砂の移動はもろろ海岸地帯のシルトの

移動等の探究に専門技術者の専従が容易に実現出来るならば必ずや近い将来に利害相反する双方に適成した構造物の発達が見られ自然の均衡に對しても最少限の被害で済むようになり、更にまた海岸地帯の限界価値を高め人間環境において経済的に重要な役割を可能ならしめるであろう。

ここで利害関係の点で当町に良く似た新潟港における地盤沈下の例を少し取りあげ町民各位のご参考に供したいと思ひます。

ご承知のとおり新潟における地盤沈下は戦後天然ガスの採取が増大するにつれて急激に進み最近においては年々五厘余の低下を来しております。

その原因究明に當つた同市調査委員会の報告にもありまして、ガスの採

取には揚水が伴いガスとはほぼ同量の水を汲み上げることになるのでガス採取量の多い層ほど水位が低下して水圧降下となり粘土層に圧縮荷重を受けその圧密によって部分的に地盤沈下を来すという悪い結果をまねいているのであります。

その対策としては現在の技術水準では如何ともなし難くガスの採取を中止する以外に手が無いようであるが更に一段と採掘技術の躍進が見られるならば現在汲み上げている水溶性ガスの地上分離工程を必要としない直接地下よりガスの分離採取も可能となり之等の緊迫した問題も容易に解かれて行くであろう。

我が朝日町における宮崎漁港と海岸浸蝕の問題も先程も申し上げましたとおり海洋資源利用の技術が進歩するに従つてこのような新しい海洋問題も逐次起つて来るであろうが当面の問題として漁港突堤内に流送される堆積砂利の状況からして浸蝕との相関性が全くないとは断言出来な

い。先程当町議会において認承を得た防沙林など申なる気やすめにすぎず之を以つて対策の總てであつてはな

らない。浸蝕対策特別委員会においても此等の問題を取りあげ速かに改組する必要がある。例えば民間技術者を委嘱するなどして更に強力な内容に充実させ技術的な理論の上にて究明を急がなければならぬ。

浸蝕の原因はひとり漁港の突堤のみにその責任をおかせようと思はな

い。戦後急速に行われた耕地の改良事業や大小河川の改修に依つて地下水圧を米し砂礫層が弾性的に圧縮しその上下にある粘土層が圧縮理論に従つて圧密するということも考えられ、更には海洋における浸蝕や滞積機構の影響等或は汐位の上昇や汐流の変移ということにも原因の追及をおこたつてはならない。

何れにしてもこの方面での政治的な成行きが劃期的な好転を遂げない限り効果のある海水資源の開発はもとよりこれらに妥当性のある沿岸使用の発展は望めない、もっと国家が積極的に海洋学の研究に力を注ぐよう待望すると共に多くの国民によりよき環境の形成に大きな貢献を果すであろう偉大な技術者の輩出を願つて止まない。

## 中小企業統合基本調査

— 小規模事業普及対策を充実を —

日本経済は、戦後驚異的ともいふべき高テンポの成長発展を続けてきたのであります。その間にあって中小企業と大企業との間の経営格差はむしろ次第に拡大しつゝある傾向さえあり、今後におけるわが国経済のより一層健全な発展を図るためには中小企業特にその中でも零細規模の企業の強力な育成強化を通じて不均衡の是正を図ることが緊要であるとされている事は、周知のとおりで

あります。この様なときにあたり小規模事業者のため一昨年商工会法が制定され同時に第三十四回国会法において商工会が成立し、ここに小規模事業対策の画期的な前進をみるにいたりしました事は、すでにご周知の事と思ひます。

しかしそれにも拘らず近時前述しました通り一般的には格差の拡大といわゆる経済の二重構造はいよいよ顕著になってきています。そればかりでなく貿易自由化の進展、労務管理制度の普及など今後の内外情勢の推移は中小企業にとって必ずしも樂觀を許さないものがあり、従来の中小企業対策が制度的には相当程度整理されてきたにも拘らず直ちに中小企業の安定と発展を期するためには、はなお不十分であるとすればそれはどの様な事情に基くものであろうか、まず第一に従来の各種の中小企業対策かその推進の裏付となる予算人員等の面で必ずしも充分ではなかつた事は明かである。しかしこれと同時にこれらの対策の多くは複雑多岐にわたる中小企業のすべてを対象としてこれに共通の対策をねらつた。いわば最大公約的なものとして打出されたものであり、そこにおのずから効果にも限度があつた事も事実であります。

「中小企業基本調査」は一口にいって「経営カルテ」の作成、いわゆる小規模事業普及対策の元素となるものし全国一斉に昭和三十七年度より記帳を開始し昭和四十年度に終る三年計画による長期のものであります。内容につきましては商工中小企業個々における経営の内容を密なるをもつて聴取し普及員自体直接記入し保管するものであります。

調査項目は五項目よりなつており事業所の内容、労務の内容及び特に経営の項目内容にいたつては会社経理決算報告書と同等の内容を有する詳細さが要求され、普及事業の多大なる資料と致す事が目的となつております。図表は紙面の都合上掲載はしかねますが、医師のもつカルテとは相当内容も違い広い分野に亘る調査がなされ厳重なる保管をする事になつております。普及員参上の節はお気軽にご相談され一歩一歩前進した企業経営にまい進されます事を望むものであります。(朝日町商工会)

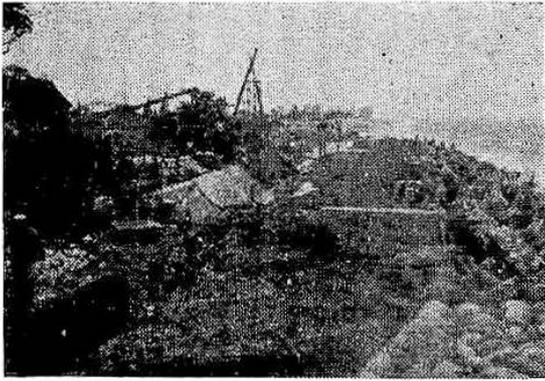


写真 II 赤川海岸の対策工事

## 町・県民税申告率ほぼ100%

### 赤申告者には 税額控除を認めません

去る三月町内会長さんをはじめ皆さんの御協力を得て町民税の申告書を提出していただいたのであります。その申告率が極めてよく百%に近い成績でした。

皆さんの積極的な御協力と御理解に対して深く感謝いたしております。僅かでありませんが未申告の方々には税法の定めるところによりまして事業専従者としての取扱いや扶養控除等の税額控除を認めることが出来なくなつた訳であります。誠に残念なことであります。誠にいたし方がございませぬ。左様御了解下さい。

### 軽自動車税について

原動機付自転車及び軽自動車について四月二十日軽自動車税の令書を配布したのであります。現在所有してないオートバイに税金が課税されている場合があると思ひます。それは廃車手続を忘れておられるか又は、個人売買されて所有者の変更手続がなされていない方の場合であります。もしそのような方がありましたら早速次の要領により手続をとって下さい。

1. 登録する場合の手続  
原動機付自転車(譲渡)した者の証明書(車名、車体番号、原動機番号、排気量を記入したものと)と印鑑を持参して下さい。なお登録手数料は一五〇円、軽自動車は月割計算によって登録と同時に納入願ひます。
2. 廃車する場合の手続  
原動機付自転車(譲渡)した者の証明書(車名、車体番号、原動機番号、排気量を記入したものと)と印鑑を持参して下さい。標識番号を遺失又は紛失した場合は警察署に申出てその旨の証明書を提出下さい。

軽自動車(県ナンバー)の場合も同様であります。尚登録、廃車について不明の点がありましたら役場財政課まで問合せ下さい。

### 品は観賞する人々の目を楽しませた

この可憐な花をつける球根はアメリカに輸出されて外貨獲得の役割を果たし、農家の懐を豊かにしてくれました。

出品成績(入賞者)

- 一等 沢田行一(舟川新)、沢田政一(舟川新)
- 二等 清水正夫(金山)、西田興三(右エ門(月山))
- 三等 藤田富二(舟川新)、沢田行一(舟川新)、藤田利雄(舟川新)、清水正夫(金山)、山崎利雄(金山)、岡田金作(舟川新)

### あなたの一票があすの政治きめる

予定によると来る七月一日に参議院議員の選挙が行われます。われらの尊い一標を正しく行使しましょう。

民主政治の最大の特徴は主権在民(すべての政治的権力の源は国民であるということ)にあります。

国や地方自治体の行政の執行は私たちが選んだ人達によってなされています。国会議員や県議会議員、町議会議員あるいは知事や町長は私たちが直接に選ぶのであることは申すまでもありません。

高の行政執行者である総理大臣を選びます。つまり私たちが間接に選んだことになるのです(間接選挙)。

このように国民の意志によって選ばれた国や地方自治体の立法者、行政執行者は民意に反映した立法行政をしなければなりません。

(朝日町公明選挙推進協議会)

買収票がなぜ悪いかと申しますと、それは買収票をすることによってたくさんのお金を使わなければならないからです。

もし買収票をした人が私たちの代表者を選ばれたとしても私たちの代表者であるということをしるべきではありません。

そしてその自分の地位を利用して何等かの型で自分の利益の事だけを考へがちになりますから私たちの為の政治をついおろそかにしてしまいます。

### 美を競う名花

チューリップ切花品競会

朝日町球根組合、朝日町産業課共催のチューリップ切花品評会で四月三十日、五月一日の二日間泊公民館で催され、色とりどりの六一点の作

## 公明選挙

買収票はやめましょうと選挙になるといつもいわれますが、なぜなら買収票は悪いことである一人一人が買収票は悪いことである

「正直者は馬鹿をみる」という諺がありますが、お金を使わなかった為に代表者を選ばれなかったという事のないよう私たちの代表者だけには買収票などのない人を選んで明るい政治で明るい社会をつくりましょう。

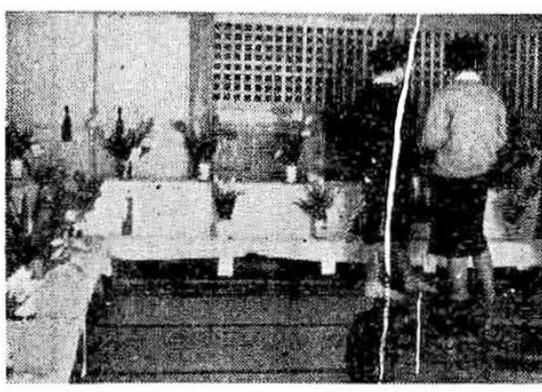
### 密出入国者を防ごう

最近日本海沿岸では、外国の人が「不正に海岸に上陸」したり、「不正に日本から出国」することが時々あります。

もし皆さんが次のようなことを見たり聞いたりしたときは警察署又は近くの駐在所へすぐ連絡して下さい。電話でも口頭でもかまいません。

- 沿岸で見かけない船舶、漁船、伝馬船などが航行していたり、又は海岸についたとき
- 海岸附近にこのような船が置き去りにしてあるとき
- このような船から見かけない人達が上陸したり乗船しているとき
- このような船の人たちが船をなおしたり品物を買入れたりする様子が特に怪しいと思われるとき
- このような人たちが駅やバス待合所、ハイヤー会社、旅館、土地の名前などを尋ねられたとき
- そのほか観光、海水浴などにきたと思われる人達で、様子が特に怪しいと思われるとき

(入善警察署)



# 自給農業から商品生産農業へ 農業近代化資金制度

## 所得増目指し国と県が利子補給

農業所得を高めていくには米作のみでは不可能で、好むと好まざるとにかかわらず畜産、果樹、蔬菜に目向けざるを得なくなっています。これをとり入れていくためには、又努力不足をカバーするため機械を入れようとするには多額の資金を必要とします。

農業近代化資金制度は、自給農業から商品生産農業へ、更に近代産業として企業農業とするために農業に資本をかけて設備や農具などを整え、又土地条件の整備等労働の生産性を極限まで高め、農業が他の産業に劣らぬ所得を上げるために必要な資金を県と国が利子補給し、農業信用基金協会の債務保証を受け、農協から借受けられる制度で、個人では一〇〇万円、特別の場合、二〇〇万円、農業法人や部落団体の場合一、〇〇〇万円まで融資されます。資金の種類、利子、償還期限等は別表のとおりです。希望者はご相談下さい。(朝日町農業改良普及所)

## 多収穫賞・技術賞に区分

### 朝日町米作競技会

朝日町では稲作技術の改善向上等を図るため今年も米作競技会を開催します。

## 梅雨明けは七月中葉すぎ

### 5〜7月天気予報

全般概況 五月は概して薄曇りの日が多く、又一時気温の低くなる

ことがある。六月は梅雨の後半天気はぐづつき気味、七月中葉すぎ梅雨明け(おおむね平年並)となる見込みだが一時大雨となる恐れあり。

五月概況 移動性高気圧の経路が本邦を北偏する傾向があるので比較的薄曇りや曇りの日が多い見込み。又上旬はところにより晩霜がある。

下旬は梅雨の前ぶれがありそう、気温は一時低くなる場所があるが平均では平年並降水量は多少多

く日照は平年並の見込。

六月概況 梅雨は西日本ではあまり永続せず比較的時間が多くなるが、北日本では曇雨天が多くなる傾向がある。北陸では前半西日本では後半幾分北日本に傾いた天候があらわれるかも知れない。月の平均気温は平年並降水量はや

多く日照は平年並の見込。

七月概況 梅雨明けはおおむね中葉すぎ頃になる見込みで一時大雨の恐れあり月平均は平年並降水量は平年並かやや多く、又日照は平年並の見込。

## 農業近代化資金制度一覽

資金の種類	個人、共同別	償還期限	据置期間	基本利率	利子補給率		末端利率
					国	県	
1 農舎、畜舎、蚕室、農産物乾燥施設、たい肥舎、サイロ、たい肥盤、農業用貯溜そう、果樹棚、電気牧さく、農業用索道、排水施設、かん水施設、農産物処理加工施設、農産物貯蔵施設、農業生産資材貯蔵施設、農業生産資材製造施設、病虫害等防除施設、きのこ栽培施設、家畜人工授精施設、家畜市場施設、又は家畜診療施設の改良、造成、又は取得に必要な資金	個人施設	12年	3年	年8分5厘	1分	1分5厘	6分
	共同利用施設	15年	3年	年8分	5厘	1分	6分5厘
2 原動機、揚排水用機具、耕うん整地用機具、農作物育成管理用機具、肥料調整散布用機具、病虫害等防除用機具、収穫調整用機具、農産物処理加工用機具、家畜用機具、養蚕用機具、又は運搬用機具の取得に要する資金	個人施設	7年	2年	年8分5厘	1分	1分5厘	6分
	共同利用施設	10年	2年	年8分	5厘	1分	6分5厘
3 果樹、オリーブ、茶又はホップの植栽に要する資金	個人施設	15年	3年	年8分5厘	1分	1分5厘	6分
	共同利用施設	15年	3年	年8分	5厘	1分	6分5厘
4 牛、馬、めん羊、山羊又は豚の購入に必要な資金	個人施設	5年	2年	年8分5厘	2分1厘	5厘	6分
	共同利用施設	5年	2年	年8分	1分5厘	5厘	6分5厘
5 耕地防風林の造成に要する資金	個人施設	10年	3年	年8分5厘	2分	2分5厘	4分
	共同利用施設	10年	3年	年8分	1分5厘	2分	4分5厘
6 農林大臣の定める規模をこえない規模の農地又は牧野の改良又は造成に必要な資金	個人施設	10年	3年	年8分5厘	2分2厘5毛	2分7厘5毛	3分5厘
	共同利用施設	10年	3年	年8分	1分7厘5毛	2分2厘5毛	4分

開催要項(技特)

一、参加資格 朝日町内に居住し一〇アール以上の耕地を耕作する者

二、参加申込 六月十日までに役場産業課又は農業改良普及所へ申込む

三、出品面積 七アール以上にして三枚以内とす。但し出品田の中

間に河、道路及び大きな畦畔のないこと

四、品種 早、中、晩を問わないが、朝日町の奨励品種に限る

五、審査方法 多収穫賞及び技術賞に区分し、いずれも参加申込と同時に圃場決定を行う

審査のための刈取りは三坪刈り(〇、三坪刈一〇ヶ所)とし、生穀重量及び調整玄米を秤量する